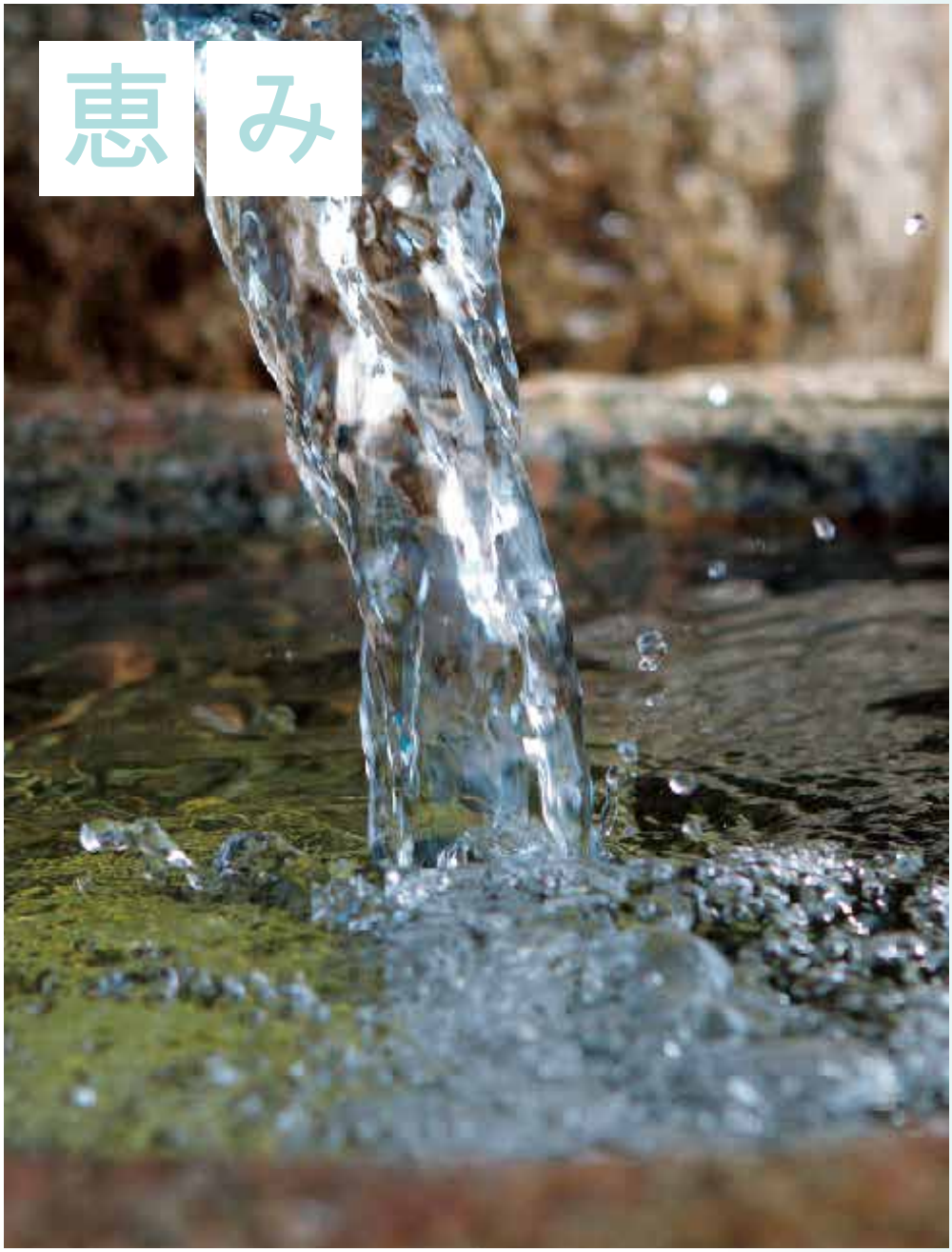



# 恵みがつなぐ、文化のまちづくり

「まち・ひと・しごと」づくり戦略

■ 政策の柱

## （９）豊かな自然環境の保全と地域資源の活用

⑼－１ 豊かな水資源と大地の活用・保全

⑼－２ 地域資源の発掘と活用

⑼－３ 循環型社会の構築

戦略

**ひとの流れづくり**

■ 政策の柱

## （10）ふるさとの文化の保存と伝承

⑽－１ 伝統文化の保存と伝承

⑽－２ 芸術・文化の振興

⑽－３ 生涯学習の機会創出

戦略

**まちづくり**

## 政策の柱（９）　豊かな自然環境の保全と地域資源の活用【自然 / 資源】

### ⑼－1　豊かな水資源と大地の活用・保全

**〔現状と課題〕**

■本町は、日本有数の清流「黒部川」がつくりあげた扇状地の中央に位置し、全国名水百選「黒部川扇状地湧水群」を有するなど、良質で豊富な湧水や地下水などの水資源に加え、黒部川をはじめとする河川や富山湾を望む海岸など、豊かな水辺環境に恵まれています。

■豊かさの象徴である水環境を将来にわたって保全するため、地下水位の観測などの継続的な調査による現状把握に努めるとともに、地域や企業とも連携しながら町を支える水資源を守り続けていく必要があります。

■本町は北アルプスを背景とした黒部川扇状地という豊かな大地の上に、国の天然記念物である杉沢の沢スギや四季の移り変わりを感じさせる散居村の田園風景など、豊かな自然景観を形成しています。

■先人たちから受け継がれてきた黒部川扇状地の豊かな大地は、今でも私たちに大きな恵みを与え続けています。この恵みを将来にわたって確実に引き継ぐためには、行政だけではなく、町民や地域、事業者が一体となって、豊かな自然環境の保全に取り組むことが必要です。

**〔住民意識調査による評価〕**

＜豊かな水資源の保全＞

| | | | |
|---|---|---|---|
| 満足度 | 高い | 評　価 | 施策タイプⅡ |
| 重要度 | 高い | | |

＜豊かな緑の保全＞

| | | | |
|---|---|---|---|
| 満足度 | 高い | 評　価 | 施策タイプⅡ |
| 重要度 | 高い | | |

**〔町民の声〕**

・舟見城址館からの夕焼けは誰にでも誇ることができるすばらしい風景です。もっとアピールすべきです。
・町外から入善町に引っ越し、実際に住んでみて、自然や水資源の豊かさが素晴らしいと感じた。これからも環境にやさしい町になってほしい。
・水が豊かであるからこそ、しっかりと保全していかなければならない。
・海岸のゴミや不法投棄の状況をみんなに知ってもらい、町ぐるみの活動できれいな海を。

〔施策の方針と具体的な取組み〕

① フィールドミュージアム事業の推進

○扇状地にあふれる特徴的な資源や暮らし、文化など、町をまるごと魅力ある素材と捉えた天然の博物館「フィールドミュージアム」と位置づけ、町民の誇りである水や大地の恵みを町内外へ発信します。

○黒部川の水がもたらす扇状地の豊かな自然環境や歴史などを学びながら巡る、フィールドツアーやセミナー事業などを積極的に展開し、町の恵みを確実に継承します。

○フィールドミュージアムの理念に基づき、魅力の発信や交流の創出はもちろん、町民の活動や学習推進の場としても有意義な中核拠点施設の整備について検討を進めます。

② 地域ぐるみの水資源の保全

○地下水量や水質等の調査を定期的に実施し、地下水の現状を把握するとともに、定期的に地下水位の推移をホームページで公開するなど、地下水保全意識の醸成を図ります。

○良好な水環境を維持するため、町民の理解や意識の高揚を図るとともに、啓発活動などをとおした、水に親しむ機会の創出や環境教育の推進を図ります。

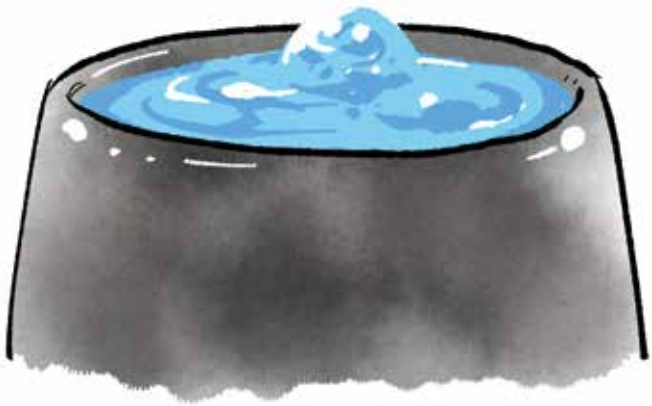
○「海と渚のクリーンアップ」など、地域や団体、企業等が主体となった町ぐるみによる河川や海岸の美化活動を推進します。

③ 自然環境の保全と地域緑化の推進

○地域と一体となって里山の良好な環境を保全し、森林環境を活かした魅力ある景観づくりに努めるとともに、森林環境譲与税を活用した森林環境の適切な管理・保全や公共施設等における木材利用の推進を図ります。

○公園等の公共空間の緑化はもちろん、花と緑の活動等による花苗の供給や植樹など、地域が主体となった緑化活動を促進するとともに、緑化ボランティアをはじめとする担い手の確保、育成に努めます。

○土砂崩れや洪水の防止、地下水の涵養など、多面的な機能を持つ水田を地域ぐるみで保全し、環境に配慮した農地活用を推進します。

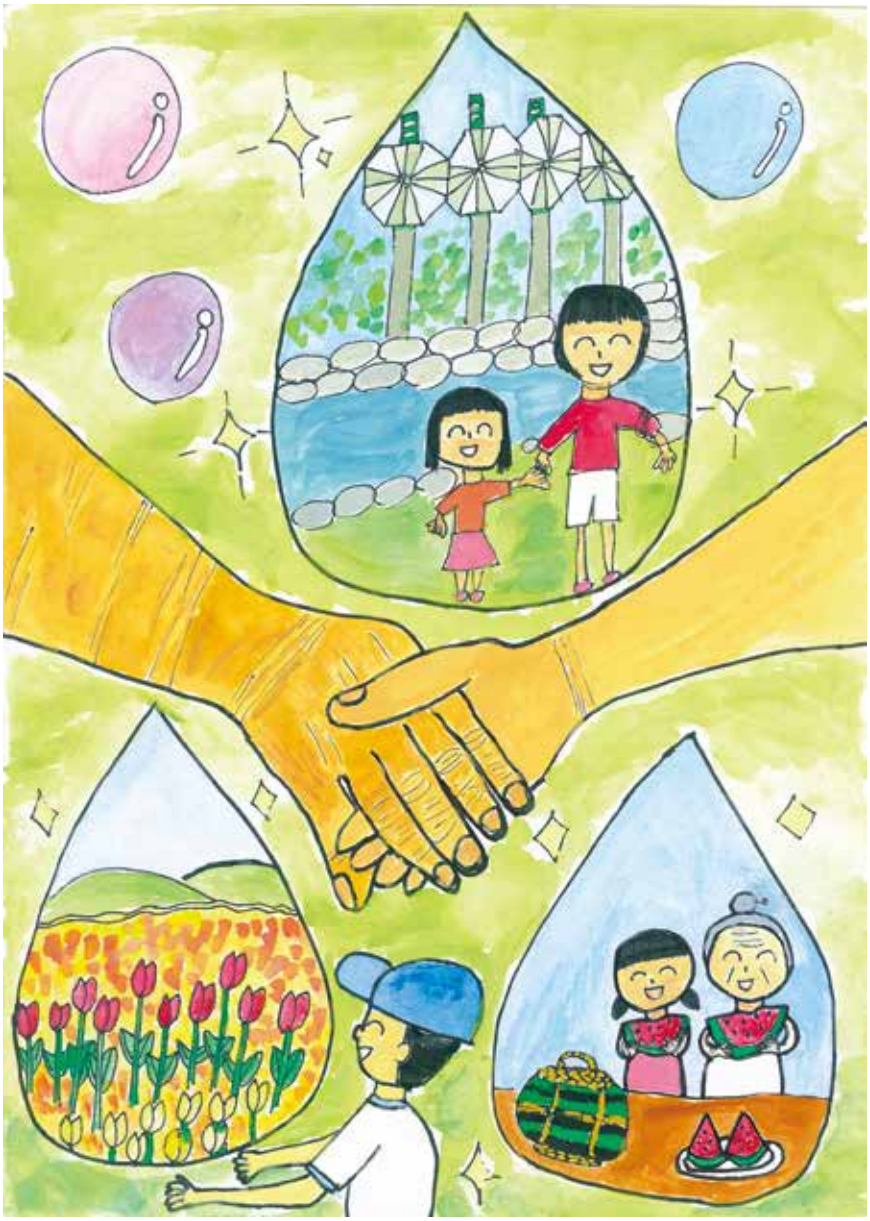


〔効果を示す指標と目標〕

| 指　標 | 単　位 | 基準値 | 目標値 | |
|---|---|---|---|---|
| | | | 令和7年度 | 令和12年度 |
| フィールドミュージアム事業参加者数（累計） | 人 | — | 5,000 | 10,000 |
| 水質調査の異常検出箇所数（地下水・河川水） | 箇所 | 0（R1） | 0 | 0 |
| 沢スギ保全ボランティア参加者数 | 人 | 373（R1） | 500 | 600 |

〔実施する主な事業〕

＊扇状地フィールドミュージアム推進事業
＊立山黒部ジオパーク推進事業【再掲】
＊みずの郷環境保全事業
＊地下水位観測事業
＊地域ふれあい緑化事業
＊里山再生整備事業
＊「山のみち」整備事業【再掲】
＊里山観光資源整備事業【再掲】
＊海岸グリーンベルト造成事業【再掲】
＊海と渚のクリーンアップ事業
＊シーサイドロード整備事業【再掲】
＊沢スギ保存・再生整備事業【再掲】
＊水資源保全・活用事業
＊園家山周辺水環境整備事業【再掲】
＊森林環境整備事業
＊林道整備事業
＊舟見山関連道整備事業
＊海岸林保全整備事業
＊多面的機能支払交付金事業【再掲】
＊鳥獣被害対策事業【再掲】



「ゆたかな自然と誰もが楽しくくらせる入善町」

黒東小学校4年　鈴木　莉子さん

## ⑼－2　地域資源の発掘と活用

**〔現状と課題〕**

■扇状地が創り上げた豊かな自然による美しい風景や、入善町ならではの自然体験など、町の様々な魅力を発掘し、地域資源として活用・発信する必要があります。

■海洋深層水は町特有の地域資源であり、特産品などの商品開発等において大きな可能性を秘めています。水産利用をはじめ海洋深層水のさらなる利活用が見込まれる中、取水設備の増設により需要に確実に対応することで、地域産業の活性化や地方創生の実現を目指します。

■企業や高等教育機関等との連携を強化し、海洋深層水の積極的な利用促進を図るとともに、産業や観光、教育など、新たな活用の可能性を研究していく必要があります。

**〔住民意識調査による評価〕**

＜豊かな水資源の保全＞

| | | | |
|---|---|---|---|
| 満足度 | 高い | 評　価 | 施策タイプⅡ |
| 重要度 | 高い | | |

＜豊かな緑の保全＞

| | | | |
|---|---|---|---|
| 満足度 | 高い | 評　価 | 施策タイプⅡ |
| 重要度 | 高い | | |

＜水産業の振興と海洋深層水の活用＞

| | | | |
|---|---|---|---|
| 満足度 | 高い | 評　価 | 施策タイプⅣ |
| 重要度 | 低い | | |

**〔町民の声〕**

・水中ウォーキング、ジム、プール、風呂などに深層水を活用した温泉施設を入善町の景色の良い場所に整備してはどうか。
・化粧水、石けん、シャンプーなど深層水を活用したスキンケア化粧品の開発をしてみてはどうか。
・カキだけではなく、深層水からおいしい塩を生産するなどしてみてはどうか。

**〔施策の方針と具体的な取組み〕**

① 地域資源の発掘と活用の推進

○豊かな自然や風景などを町の地域資源として認識し、魅力を高めることで認知度の向上を図るとともに、産業や移住・定住、交流など幅広い分野での活用を図ります。

○町に内在する地域資源の発掘を行うとともに、フィールドミュージアム事業とも連携・調和を図りながら、地域資源を効果的に活用します。

② 海洋深層水の活用促進

○町特有の資源である海洋深層水の新たな取水設備を整備するなど、安定的な供給体制を構築し、さらなる利活用を促進します。

○海洋深層水の特性を活かした、企業団地との熱交換システムへの利用や、「深層水仕込み牡蠣」をはじめとした特産品の開発など、全国でも先進的な深層水の多段活用を一層推進するとともに、さらなる産業振興や特産品の開発等を進めます。

○町の貴重な地域資源である海洋深層水の可能性を探り、新たな活用等につなげていくため、産学等との連携による調査研究を推進します。

**〔効果を示す指標と目標〕**

| 指　標 | 単　位 | 基準値 | 目標値 | |
|---|---|---|---|---|
| | | | 令和7年度 | 令和12年度 |
| フィールドミュージアム事業参加者数（累計）【再掲】 | 人 | — | 5,000 | 10,000 |
| 海洋深層水分水量 | トン | 304,338 (R1) | 1,252,000 | 1,252,000 |
| 海洋深層水パーク来場者数 | 人 | 50,847 (R1) | 70,000 | 80,000 |

**〔実施する主な事業〕**

＊扇状地フィールドミュージアム推進事業【再掲】
＊里山観光資源整備事業【再掲】
＊海洋深層水利活用促進事業
＊深層水活用産業活性化事業
＊深層水研究開発推進事業
＊立山黒部ジオパーク支援事業【再掲】
＊海洋深層水多段活用促進事業
＊深層水水産振興事業
＊入善海洋深層水PR事業
＊深層水取水施設整備事業

## ⑼－3　循環型社会の構築

**〔現状と課題〕**

■SDGs（持続可能な開発目標）の主要目標の一つでもある環境問題への対応が求められる中、自然災害の要因ともなる地球温暖化は日々深刻化しており、町民一人ひとりが環境に配慮し、持続可能な循環型の社会づくりに取り組む必要があります。

■世界的なカーボンニュートラルの実現に向けた動きにも呼応し、地域特性を活かした再生可能エネルギーの導入や、家庭や事業所における省エネルギー化、脱炭素化の取組みなど、町民や事業者が一体となった地域ぐるみの取組みを進める必要があります。

■本町のごみ排出量は、近年、減少傾向にある一方で、リサイクル率は依然として横ばい傾向にあり、今後も引き続き町民や事業所と協力し、ごみの減量化や資源化を推進する取組みが必要です。

■町民が豊かな自然への理解を深め、主体的に環境保全活動等に取り組むことができるよう、将来を担う子どもたちへの環境学習はもちろん、家庭をはじめ地域や団体、企業と連携した保全・美化活動を推進することが重要です。

**〔住民意識調査による評価〕**

＜持続可能な循環型社会の構築＞

| | | | |
|---|---|---|---|
| 満足度 | 高い | 評　価 | 施策タイプⅡ |
| 重要度 | 高い | | |

＜リサイクルの推進＞

| | | | |
|---|---|---|---|
| 満足度 | 高い | 評　価 | 施策タイプⅡ |
| 重要度 | 高い | | |

**〔町民の声〕**

・行政が使用している封筒の宛名の窓枠をプラから紙製に変更できないか。
・湧水を冷房代わりにするなど有効活用できないか。
・レトロな水車や最新機器で小水力発電を推進してはどうか。
・再生可能エネルギーは今後も必要である。
・小水力や太陽光、風力発電など、小規模エネルギーを町の助成で各家庭に配置し、自家消費や売電をできないか。

**〔施策の方針と具体的な取組み〕**

① 再生可能エネルギー導入と省エネルギー化の推進

○公共施設はもちろん家庭や地域においても、太陽光発電をはじめとする再生可能エネルギーの導入や省エネルギー化を推進し、消費電力や二酸化炭素排出量の削減に努めます。

○風力発電や小水力発電など、地域の環境特性を活かした再生可能エネルギーの活用可能性を研究し、環境に配慮した持続可能な社会の構築を目指します。

② リサイクルの推進とごみの減量化

○再生広場を中心とした資源回収の推進や生ごみ処理機の普及など、家庭におけるごみの減量化と積極的なリサイクル活動を進めることで、循環型社会の構築を推進します。

○適切なごみの分別や食品ロスの削減、不法投棄対策などについて周知徹底を図るとともに、環境監視員などとも連携した監視体制の強化を図ります。

○クリーン入善7125大作戦など清掃美化活動の全町的な取組みにより、町民のマナー向上を図ります。

③ 環境教育の推進

○環境イベントの開催や出前講座の実施、ケーブルテレビなどにより、町民の環境への意識啓発を図ります。

○SDGsの達成を意識しながら、身近な自然環境とのふれあいや保全への意識づけ、地球規模での環境問題に対する理解にいたるまで、学校教育をはじめ家庭や地域など、様々な機会を捉えた環境教育を推進します。

**〔効果を示す指標と目標〕**

| 指　標 | 単　位 | 基準値 | 目標値 | |
|---|---|---|---|---|
| | | | 令和7年度 | 令和12年度 |
| 公共施設における $CO_2$ 排出量（車両・機械設備等を含む） | トン | 3,777 (R1) | 基準値から5% 削減 | 基準値から10% 削減 |
| リサイクル率 | % | 13.8 (R1) | 16.5 | 20.0 |
| 環境美化活動参加者数 | 人 | 9,904 (R1) | 10,000 | 10,000 |

**〔実施する主な事業〕**

＊$CO_2$10,000ｔ削減プロジェクト
＊再生可能エネルギー導入推進事業
＊生ごみ処理機設置助成事業
＊環境フェア開催事業
＊SDGs未来都市普及事業
＊クリーン入善7125大作戦
＊公共施設太陽光発電設備整備事業
＊リサイクル推進事業
＊地域環境美化活動推進事業
＊脱炭素社会推進事業

## 政策の柱（10）　ふるさとの文化の保存と伝承【郷土 / 文化】

### ⑽－1　伝統文化の保存と伝承

**〔現状と課題〕**

■本町には、国の天然記念物である杉沢の沢スギや重要無形民俗文化財、地域の祭りなど、先人から受け継がれてきた歴史や伝統、文化資源が数多くあります。

■地域の祭りや文化の担い手の高齢化に加え、少子化や若者の流出により後継者不足が進み、伝統文化の存続や継承が危ぶまれます。

■子どもの頃から歴史や文化に親しみ、地域に愛着を持つことや、地域住民とのつながりを強くすることで、地域の伝統文化を確実に後世に伝承していくことが重要です。

■文化財等については、町民に身近なものとして親しまれることで、保存や保全に対する意識が醸成されることから、積極的な活用を推進する必要があります。

**〔住民意識調査による評価〕**

＜歴史・伝統・文化財の保存と継承＞

| | | | |
|---|---|---|---|
| 満足度 | 高い | 評　価 | 施策タイプⅣ |
| 重要度 | 低い | | |

**〔町民の声〕**

・盆踊りの実施地区や参加者が減っている。
・踊り方のアーカイブ化や幅広い周知により参加者を増やせないか。

**〔施策の方針と具体的な取組み〕**

① 地域文化の継承

○地域で受け継がれてきた文化や祭りなどを守り、未来へ引き継いでいくことができるよう、文化の保存に対する支援を推進します。

○子どもの頃から地域文化に親しむ機会を増やし、理解を深めるとともに、無形文化財や伝統文化などの後継者の育成へとつなげます。

○各地区の保存団体間の交流や連携を図り、地域が一体となって、文化の継承・保存を進めていく体制づくりを進めます。

② 文化財や文化資源の保存と活用

○町に伝わる有形無形の文化財や伝統文化などを後世に伝えるため、記録誌やアーカイブとして残すなど、適正な維持管理と保存に向けた調査研究を進めます。

○国指定天然記念物の「杉沢の沢スギ」など、地域にある文化資源や文化財を積極的に活用し、保存と伝承に向けた意識の醸成を図ります。

○公民館などで文化財等の展示を行うとともに、文化財を活用した講座などを開催し、地域文化に親しむ機会の創出と伝える人材の養成を図ります。

**〔効果を示す指標と目標〕**

| 指　標 | 単　位 | 基準値 | 目標値 | |
|---|---|---|---|---|
| | | | 令和7年度 | 令和12年度 |
| 地域のささえあい推進事業実施件数（未来に伝える宝づくり）（累計） | 件 | — | 10 | 20 |
| 指定文化財保存団体数 | 団体 | 6<br>(R1) | 維持 | 維持 |

**〔実施する主な事業〕**

＊伝統文化継承推進事業
＊地域のささえあい推進事業
＊扇状地フィールドミュージアム推進事業【再掲】
＊文化財保存整備事業
＊沢スギ保存・再生整備事業【再掲】

## ⑽－2　芸術・文化の振興

**〔現状と課題〕**

■本町には、旧水力発電所を活かした展示を行う下山芸術の森発電所美術館や、優れた音響設備を有するコスモホールなど、町外に誇ることができる特色ある芸術・文化施設があります。

■中世末の山城跡に建てられた舟見城址館や、昭和初期の生活が体験できるいろり館など、町の文化を知り・体験できる施設があります。

■町民が芸術・文化にふれあう機会を増やし、自身でも創作活動などを行うことができるよう、活動や芸術・文化の発表の場を創出することで、地域の芸術・文化活動を支え、地域に誇りある人材を育成、支援していく必要があります。

**〔住民意識調査による評価〕**

＜芸術・文化の振興＞

| | | | |
|---|---|---|---|
| 満足度 | 低い | 評　価 | 施策タイプⅢ |
| 重要度 | 低い | | |

**〔町民の声〕**

・少子高齢化が進むと、多種多様な文化、芸術が大変重要になる。

**〔施策の方針と具体的な取組み〕**

① 芸術・文化施設の活用促進

○施設の特色を活かした魅力的な企画展示やワークショップ、イベントの開催など、町ならではの芸術・文化の発信を推進します。

○芸術・文化施設を開放し、幅広い世代の町民が芸術・文化にふれあう機会の創出を図るとともに、施設の特徴を活かした多様な利用を促進します。

○舟見城址館やいろり館など、歴史的な文化を体験できる施設を活用し、地域への理解を促します。

② 芸術・文化活動の振興

○芸術・文化活動の一層の活性化を図るため、活動に取り組む人や団体の育成、連携を強化します。

○文化施設や教育施設、コミュニティ施設などを有効に活用し、子どもから高齢者まで多様な世代が、芸術・文化にふれる機会を創出し、地域への愛着を醸成するとともに、豊かな芸術性や創造性を育みます。

〔効果を示す指標と目標〕

| 指　標 | 単　位 | 基準値 | 目標値 | |
|---|---|---|---|---|
| | | | 令和7年度 | 令和12年度 |
| コスモホール利用者数 | 人 | 30,107<br>(R1) | 35,000 | 35,000 |
| 発電所美術館来館者数 | 人 | 5,867<br>(R1) | 7,000 | 7,000 |
| 文化芸術団体数 | 団体 | 63<br>(R1) | 70 | 80 |

〔実施する主な事業〕

＊町民芸術振興事業

＊町民会館文化振興事業

## ⑽－3　生涯学習の機会創出

**〔現状と課題〕**

■ライフスタイルや価値観の多様化に伴い、心の豊かさや生きがいの創出を求めた学習需要が増大しており、多様なニーズに対応した講座の展開など、生涯学習機会の充実を図る必要があります。

■行政での取組みはもちろん、地域住民が主体となった自主的な生涯学習活動の推進を図るため、地域における指導者やボランティアなど、担い手の育成や支援体制の充実が必要です。

■中央公民館や地区公民館などの拠点施設の利便性の向上や機能を充実するとともに、主体間の連携を図り、各世代のニーズを的確に捉えた学習機会を創出することが必要です。

**〔住民意識調査による評価〕**

＜生涯学習・スポーツの推進＞

| | | | |
|---|---|---|---|
| 満足度 | 高い | 評　価 | 施策タイプⅣ |
| 重要度 | 低い | | |

**〔町民の声〕**

・定年になってから時間が余っているが、何をすればいいか分からない。何か新しい趣味をもてるようなヒントになる教室などはないか。

・なかなか図書館に行っていられなくて、本の配達やデジタル図書などがあれば、便利だと思う。

**〔施策の方針と具体的な取組み〕**

① 学習機会の充実

○多様なニーズに対応するとともに、世代に関係なく広く学び合うことができる機会の充実を図ります。

○地域の歴史や文化、豊かな自然環境など、地域の特性を活かした学習や体験型講座等の展開を促進します。

② 生涯学習環境の整備

○生涯学習活動に関する情報の集約を図るとともに、ホームページの活用などによる情報提供を推進します。

○図書館においては、利用者ニーズを的確に捉え、蔵書の拡充や書籍の電子化を図るなど、図書とふれあう環境の充実に努めます。

○各地区公民館を拠点とした教室や講座、イベントなどの活性化を推進します。

〔効果を示す指標と目標〕

| 指　標 | 単　位 | 基準値 | 目標値 | |
|---|---|---|---|---|
| | | | 令和7年度 | 令和12年度 |
| 生涯学習講座受講者数（累計） | 人 | ― | 2,500 | 5,000 |
| 町民一人あたり図書貸出数 | 冊 | 3.8<br>(R1) | 4.2 | 4.5 |

〔実施する主な事業〕

＊町民一人一学習事業
＊コミュニティ施設環境整備事業
＊電子図書館活性化事業
＊合併70周年記念事業
＊子ども自然体験事業
＊図書館蔵書整備事業
＊にゅうぜん郷土愛醸成事業【再掲】